

個人防護具の節約



できないものはできない

### 節約できる可能性のあるもの

- ガウン
- マスク
- フェイスガード

### 節約できないもの

- ディスポーザブル手袋



# 節約する上での注意点

- まずは使用場面の限定
- 再利用にあたっては保管のルールを事前に決めておく
- 再利用せず廃棄する基準を決めておく



# 使用場面の限定

- 未発生期に使い尽くしてしまうのは避ける
- 単発期には介護者保護+他の利用者への拡大阻止
- 集団発生時には介護者保護
  - ゾーニングも結果的には個人防護具の節約になるはず



## さて質問です

- 施設Xでは一日一枚のサージカルマスクの使用が原則になっています
- Aさんは8:30amの日勤開始時に新しいマスクを着用し、様々な介護に従事しました。
- 12:00昼休みになって、マスクを外しました
  - まずは手指消毒
  - 両方の耳紐を持って外し
- さて、マスクはどちらを中にして折りたためば良いでしょうか？
- 折りたたんだマスクを何処へ置けば良いでしょうか？



# 非感染者のマスク

- 外側が汚染されていて
- 内側は清潔
- →汚染されているところを触らないようにするためには内側を外にして折る
- 清潔な内側が外向きになっているので、清潔な袋や場所に置く
- 再度着用する場合は折りたたまれている内側(着用時には外側)に触らないようにひっくり返して着用



# 感染者が飛沫飛散防止で着用している マスク

- 内側が高度汚染
- 外側も汚染
- 外すときも紐以外を触らない
- マスク本体を触ったあとは必ず手洗い
- 外したマスクを置いた場所は後で消毒



# ガウンの節約

- 吸引や口腔ケアも非感染期には必須ではない
- むしろその後の感染期に備えた脱衣の練習として実施する
- 単発例への対応にあたってはエプロン+手洗い(露出部の消毒)という方法もある





# フェイスガードの消毒/再利用

- 通常は非感染者である介護者が利用者からの飛沫を防止するためにつけているので、外側のみ汚染のはず
- 手袋をつけた状態で飛沫を浴びる介護(例えば口腔ケア)のあと、理想的には二重手袋の外一枚を外した状態でフェイスガードの外側をアルコールで清拭
- 一重手袋なら手袋をつけたままで手指消毒してから外側をアルコールで清拭
- 休憩時に次亜塩素酸ナトリウム(0.05%)に浸漬
- 休憩後水洗いして再使用



# 廃棄のためのルール

- 目に見える体液汚染がある場合
- 目には見えなくても多量の飛沫を浴びた場合
- 汚れがある場合
- 破損がある場合



# 個人防護具を外す練習計画を立てま しょう

## 動画での学習

- <https://www.youtube.com/watch?v=gSgft2xPMVc>

## ポスター掲示

- ガウンの脱ぎ方  でいっぱい出てくる

## 研修計画

- 実技必須

## チェック計画